

【同窓会報告】

短大7回生、卒後15年目に湯ノ花温泉に集う

松本 圭一

平成26年3月で京都医療技術短期大学卒業から15年目になることを記念して、平成26年2月15日(土)・16日(日)の両日にわたって、慣れ親しんだ母校近隣の湯ノ花温泉「京都・烟河」にて同窓会を開催しました。

吉本君が発起人となり、金澤・幸松・高倉・松永・松本が世話人となって準備を進め、関西在住者を中心に14名の学友が集まりました。

学会や勉強会で定期的に会う同窓生、卒業以来初めて顔を合わす同窓生、体型が随分と変わったとお叱りを受けたのも束の間、瞬く間に学生時代の“力”で和やかな雰囲気となりました。

同窓会初日は、午後4時頃に最寄り駅(亀岡駅)から送迎バスにて会場に向かいました。午後6時から宴会でしたが、出張先から駆け付ける者もいて、参加者全員が揃ったのは午後11時頃でした(松永さんは、な、な、なんと Milwaukee から直行でした。流石、世界を股にかけるキャリアウーマン!!)。お酒の勢いもあったと思いますが、参加者全員が20代前半を彷彿とさせる旺盛な気力、体力で、朝方まで呑んで、しゃべって、騒ぎました。特に朝方就寝前に「部屋の金庫の鍵がなくなった!!」と大騒ぎになり、深夜に迷惑をも省みず大騒動になりました。公私共に肉体的、精神的、金銭的(!?)負担の大きい年齢であるのか、真面目な話しや苦労話もありましたが、時間の過ぎるのも忘れ、楽しい一夜を過ごしました。

翌朝は、参加者全員で楽しく朝食をとる予定でしたが、男性陣は数時間前まで呑んでいたお酒が全く抜けず、グダグダの状態でご馳走を堪能(完食)できませんでした…。朝食後は、朝風呂を浴びに行く人、お土産を買う人、京都観光に出かける人、早々に帰路につく人と、それぞれに別れましたが、次回の再会を約束しての散会となりました。

平成27年には敷地内に新棟が竣工する予定です。今回は、筆者のわがままで京都医療科学大学の見学は延期となりましたが、次回同窓会は、厄年前、新棟竣工に合わせて開催する予定です。都合をつけ是非多数の同窓生に参加してほしいと思います。期待して案内を待っていて下さい。

出席者

喜多香由子、八田悦子、永田由香里、二村健太郎、高倉亨、角田浩、幸松秀則、吉本篤史、山本和弘、横江伴之、金澤裕樹、三島久典、松永奈美、松本圭一



以上